



Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS 仮想マシン トラッカー構成 ガイド、リリース 10.6(x)

最終更新：2026 年 2 月 2 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点での英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS REFERENCED IN THIS DOCUMENTATION ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. EXCEPT AS MAY OTHERWISE BE AGREED BY CISCO IN WRITING, ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS DOCUMENTATION ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED.

The Cisco End User License Agreement and any supplemental license terms govern your use of any Cisco software, including this product documentation, and are located at: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/cloud-and-software/software-terms.html>. Cisco product warranty information is available at <https://www.cisco.com/c/en/us/products/warranty-listing.html>. US Federal Communications Commission Notices are found here <https://www.cisco.com/c/en/us/products/us-fcc-notice.html>.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

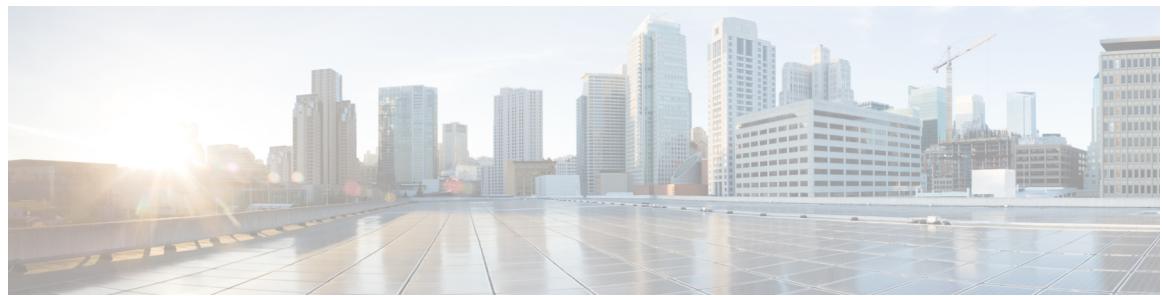
Any products and features described herein as in development or available at a future date remain in varying stages of development and will be offered on a when-and-if-available basis. Any such product or feature roadmaps are subject to change at the sole discretion of Cisco and Cisco will have no liability for delay in the delivery or failure to deliver any products or feature roadmap items that may be set forth in this document.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

The documentation set for this product strives to use bias-free language. For the purposes of this documentation set, bias-free is defined as language that does not imply discrimination based on age, disability, gender, racial identity, ethnic identity, sexual orientation, socioeconomic status, and intersectionality. Exceptions may be present in the documentation due to language that is hardcoded in the user interfaces of the product software, language used based on RFP documentation, or language that is used by a referenced third-party product.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目 次

はじめに :

はじめに **v**

対象読者 **v**

表記法 **v**

Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチの関連資料 **vi**

マニュアルに関するフィードバック **vi**

通信、サービス、およびその他の情報 **vii**

Cisco バグ検索ツール **vii**

マニュアルに関するフィードバック **vii**

第 1 章

新機能と更新情報 **1**

新機能と更新情報 **1**

第 2 章

概要 **3**

ライセンス要件 **3**

サポートされるプラットフォーム **3**

仮想マシン トラッカーに関する情報 **4**

仮想マシン トラッcker および VMware vCenter **4**

第 3 章

仮想マシン トラッcker の構成 **5**

仮想マシン トラッcker に関する情報 **5**

VM トラッcker の注意事項と制限事項 **5**

花王マシン トラッcker の有効化 **7**

vCenter への新規接続の作成 **7**

VMware vCenter との情報の同期 **8**

VPC トポロジで互換性チェック	9
VXLAN テレメトリの表示	10
仮想マシン トラッカー構成の確認	11
特定のインターフェイスで仮想マシン トラッカーを有効にする	11
ダイナミック VLAN 作成の構成	12
ダイナミック VLAN 作成の有効化	12
許可されている VLAN リストの構成	13
仮想マシン トラッカーの構成例	14



はじめに

この前書きは、次の項で構成されています。

- [対象読者 \(v ページ\)](#)
- [表記法 \(v ページ\)](#)
- [Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチの関連資料 \(vi ページ\)](#)
- [マニュアルに関するフィードバック \(vi ページ\)](#)
- [通信、サービス、およびその他の情報 \(vii ページ\)](#)

対象読者

このマニュアルは、Cisco Nexus スイッチの設置、設定、および維持に携わるネットワーク管理者を対象としています。

表記法

コマンドの説明には、次のような表記法が使用されます。

表記法	説明
bold	太字の文字は、表示どおりにユーザが入力するコマンドおよびキーワードです。
<i>italic</i>	イタリック体の文字は、ユーザが値を指定する引数です。
[x]	省略可能な要素（キーワードまたは引数）は、角かっこで囲んで示しています。
[x y]	いずれか1つを選択できる省略可能なキーワードや引数は、角かっこで囲み、縦棒で区切って示しています。
{x y}	必ずいずれか1つを選択しなければならない必須キーワードや引数は、波かっこで囲み、縦棒で区切って示しています。

表記法	説明
[x {y z}]	角かっこまたは波かっこが入れ子になっている箇所は、任意または必須の要素内の任意または必須の選択肢であることを表します。角かっこ内の波かっこと縦棒は、省略可能な要素内で選択すべき必須の要素を示しています。
variable	ユーザが値を入力する変数であることを表します。イタリック体が使用できない場合に使用されます。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しないでください。引用符を使用すると、その引用符も含めて string と見なされます。

例では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
screen フォント	スイッチが表示する端末セッションおよび情報は、スクリーンフォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[]	システムプロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチの関連資料

Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチ全体のマニュアルセットは、次の URL にあります。

https://www.cisco.com/en/US/products/ps13386/tsd_products_support_series_home.html

マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、HTML ドキュメント内のフィードバック フォームよりご連絡ください。ご協力をよろしくお願ひいたします。

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、Cisco Profile Manager でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、Cisco Services にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、Cisco Support にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、Cisco DevNet [英語] にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、Cisco Press にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリーの保証情報を探すには、Cisco Warranty Finder にアクセスしてください。

Cisco バグ検索ツール

Cisco バグ検索ツール (BST) は、Cisco 製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する Cisco バグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

マニュアルに関するフィードバック

Cisco の技術ドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンライン ドキュメントの右側のペインにあるフィードバック フォームを使用してください。



第 1 章

新機能と更新情報

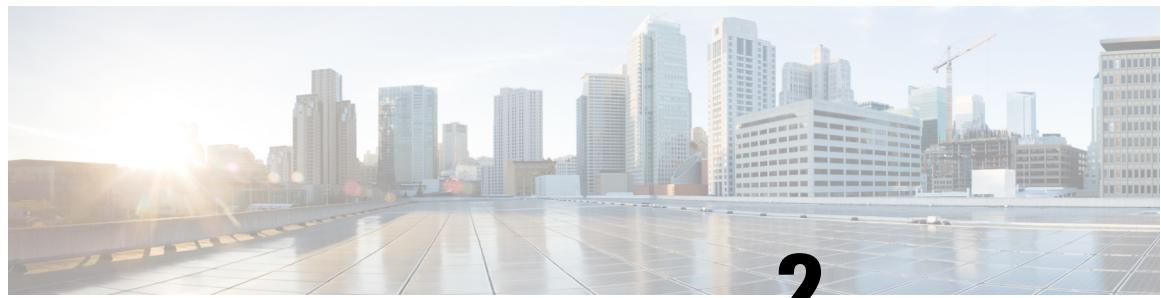
この章では、『Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS 仮想マシントラッカー構成ガイド』の新機能または変更機能それぞれについて、リリース固有の情報を提供します。

- [新機能と更新情報 \(1 ページ\)](#)

新機能と更新情報

表 1:新機能および変更された機能

特長	説明	変更が行われたり リース	参照先
NA	このリリースの機能更新 はありません。	10.6(1)F	該当なし



第 2 章

概要

この章は、次の項で構成されています。

- ライセンス要件 (3 ページ)
- サポートされるプラットフォーム (3 ページ)
- 仮想マシントラッカーに関する情報 (4 ページ)
- 仮想マシントラッカーおよび VMware vCenter (4 ページ)

ライセンス要件

Cisco NX-OS を動作させるには、機能とプラットフォームの要件に従って適切なライセンスを取得し、インストールする必要があります。

- 基本 (Essential) ライセンスとアドオンライセンスが、さまざまな機能セットに使用できます。
- ライセンスは、製品および購入オプションに応じて、永続的、一時的、または評価用のものがあります。
- 高度な機能を使用するには、基本ライセンス以外の追加の機能ライセンスが必要です。
- 高度な機能を使用するには、基本ライセンス以外の追加ライセンスが必要です。
- ライセンスの適用と管理は、デバイスのコマンドラインインターフェイス (CLI) を介して行われます。

ハードウェアの取り付け手順の詳細については、を参照してください。『Cisco NX-OS Licensing Guide』および [Cisco NX-OS ライセンシング オプション ガイド](#)。

サポートされるプラットフォーム

Nexus スイッチ プラットフォーム サポートマトリックスには、次のものがリストされています。

- サポートされている Cisco Nexus 9000 および 3000 スイッチ モデル

■ 仮想マシントラッカーに関する情報

- NX-OS ソフトウェア リリース バージョン

プラットフォームと機能の完全なマッピングについては、 [Nexus Switch Platform Support Matrix](#) を参照してください。

仮想マシントラッカーに関する情報

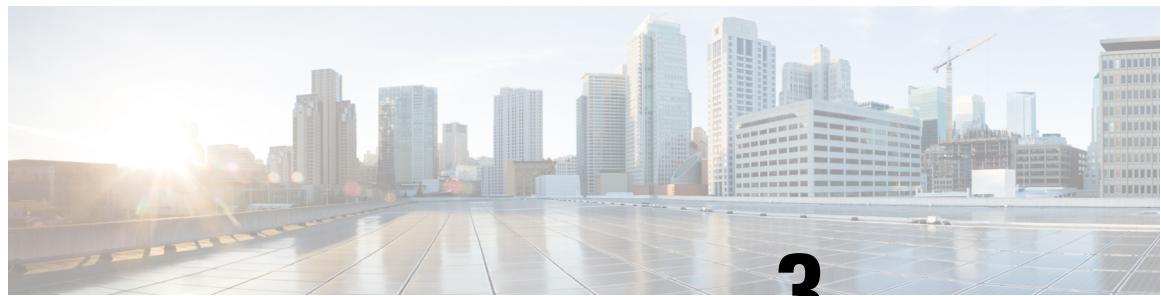
仮想マシントラッカー（VM トラッカー）は、VMware vCenter と連携して、次のことを行うことができます。

- 各 VM に使用される Cisco Nexus 9000 シリーズ ポートを識別する
- 各 VM の VLAN 要件を識別する
- あるホスト（ESXi）から別のホストへの VM の移動を追跡する
- VLAN の追加、削除、変更などの VM の設定変更を追跡し、Cisco Nexus 9000 シリーズ ポートで VLAN を適切に構成する
- VM およびホストの追加または削除を追跡し、Cisco Nexus 9000 シリーズ ポートで VLAN を適切に構成する
- 物理ポート側の Cisco Nexus 9000 サーバで VM の状態を追跡し、VLAN をダイナミックにプロビジョニングする

仮想マシントラッカーおよび VMware vCenter

VM トラッカーは、VMware vCenter と同期して次の情報を取得します。

- VM が存在するホスト。
- VM トライフィック フローが存在する Cisco Nexus 9000 シリーズのポート。
- VM が仮想スイッチに接続する仮想ネットワーク インターフェイス カード（vNIC）。
- VM の電源状態。
- ポート グループまたは分散仮想スイッチ（DVS）ポート グループの VLAN 情報。
- VM に必要なポート グループまたは DVS ポート グループ。



第 3 章

仮想マシントラッカーの構成

この章は、次の項で構成されています。

- ・仮想マシントラッカーに関する情報 (5 ページ)
- ・花王マシントラッカーの有効化 (7 ページ)
- ・vCenter への新規接続の作成 (7 ページ)
- ・VMware vCenter との情報の同期 (8 ページ)
- ・VPC トポロジで互換性チェック (9 ページ)
- ・VXLAN テレメトリの表示 (10 ページ)
- ・仮想マシントラッカー構成の確認 (11 ページ)
- ・特定のインターフェイスで仮想マシントラッカーを有効にする (11 ページ)
- ・ダイナミック VLAN 作成の構成 (12 ページ)
- ・仮想マシントラッカーの構成例 (14 ページ)

仮想マシントラッカーに関する情報

VM トラッカーの注意事項と制限事項

VM トラッカーに関する注意事項および制限事項は次のとおりです。

- ・キーワードが付いている **show** コマンドはサポートされていません。 **internal**
- ・すべてのポートで VM トラッカーが有効になっている場合、スイッチポートおよび VLAN に関するレイヤ 2 またはレイヤ 3 の構成を行うことはできません。
- ・VM トラッカーは、最大 4 つの vCenter 接続をサポートします。
- ・VM トラッカーは、vCenter の高可用性およびフォルト トレランスの機能をサポートします。
- ・VM トラッカーは、ホストあたり最大 256 台の VM をサポートします。
- ・VM トラッカーは、ホストあたり最大 64 台の VM をサポートします。
- ・VM トラッcker は、すべての vCenter で最大 350 台のホストをサポートします。

VM トラッカーの注意事項と制限事項

- VM トラッカーは、最大 600 の VLAN をサポートします。
- VM トラッカーは、Per VLAN Rapid Spanning Tree (PVRST) モードでは、ハードウェア制限により、507 の VLAN のみをサポートします。507 を超える VLAN を有効にするには、Multiple Spanning Tree (MST) を使用します。
- VM トラッカーは、VMware vCenter の ESXi 5.5、6.0、6.5、および 6.7 バージョンでのみサポートされます。
- VM トラッカーは、VMware vCenter の ESXi 5.0、5.1、および 5.5 バージョンでのみサポートされます。
- VM トラッカーの現在のバージョンは、VMware オーケストレーションのみサポートします。他のハイパーバイザ搭載のオーケストレーションはサポートしません。
- VM トラッカーの現在のバージョンは、Cisco Discovery Protocol (CDP) 情報に依存します。Link Layer Discovery Protocol (LLDP) はサポートしません。
- すべてのポートで VM トラッカーが有効になっている場合、スイッチポートおよび VLAN に関するレイヤ 2 またはレイヤ 3 の構成を行うことはできません。ただし、ネイティブ VLAN を更新できません。
- VM トラッカーでは、VLAN 4095 はサポートしません。
- VM トラッカーでは、VXLAN 9504、9508、および 9516 はサポートしません。
- VM トラッカーは仮想ポートチャネル (vPC) スイッチでサポートされますが、vPC セットアップのダウンストリームスイッチで構成できます。
- Cisco Nexus 9000 シリーズポートに直接ホストを接続する必要があります。IOM 経由のホスト接続、IOM、ファブリックエクステンダ (FEX) またはシャーシはサポートされていません。
- リモート IP アドレスを構成するとき、仮想ルーティングおよびフォーワーディング (VRF) を指定しない場合、管理 VRF が使用されます。
- インターフェイス上でネイティブ VLAN として VLAN を構成しない場合、VM トラッカーはこの VLAN を削除し、VM トラッカーを無効にできません。
- VMware vCenter においてシングルサインオン (SSO) で vShield を設定する際に使用されるユーザ名/パスワードの組み合わせは、VXLAN テレメトリ情報の構築の際に使用されるユーザ名/パスワードの組み合わせでもあります。
- ホストを Cisco Nexus 9000 シリーズスイッチのポートに直接接続する必要があります。ファブリックインターフェイストリunk、別のスイッチ、またはシャーシを介したホスト接続はサポートされていません。



(注) ファブリックエクステンダ (FEX) を介したホストの接続は、Cisco Nexus 9000 シリーズスイッチでサポートされています。

- VMware Distributed Resource Scheduler (DRS) が有効になっている場合、VM トラッカーは VM の電源がオンになったことをすぐに検出できません。ただし、後で VM トラッカーが VMware vCenter との完全同期を実行すると、VM は VM トラッカーによって認識されるようになります。VMware DRS を無効にすると、この問題を回避できます。

花王マシントラッカーの有効化

デフォルトでは、VM トラッカー機能はすべてのインターフェイスで有効です。

手順の概要

1. switch# **configure terminal**
2. switch(config)# [no] **feature vmtracker**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	switch(config)# [no] feature vmtracker	すべてのインターフェイスで VM トラッカー機能を有効にします。 コマンドの no 形式では、すべてのインターフェイスで VM トラッカーを無効にします。

例

この例では、VM トラッカーを有効にする方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature vmtracker
switch(config)#
```

vCenterへの新規接続の作成

手順の概要

1. switch# **configure terminal**
2. switch(config)# [no] **vmtracker connection** *connection-name*
3. switch(config-vmt-conn)# [no] **remote {ip address** *ip_address* **| port** *port_number* **| vrf}**

■ VMware vCenter との情報の同期

4. switch(config-vmt-conn)# **username** *username* **password** *password*
5. switch(config-vmt-conn)# **[no]** **connect**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# [no] vmtracker connection <i>connection-name</i>	指定された接続名の VM トラッカー接続構成モードを開始します。 コマンドの no 形式は接続を無効にします。
ステップ 3	switch(config-vmt-conn)# [no] remote { ip address <i>ip_address</i> port <i>port_number</i> vrf }	リモート IP パラメータを構成します。
ステップ 4	switch(config-vmt-conn)# username <i>username</i> password <i>password</i>	vCenter に接続するためのユーザー名とパスワードを確認します。
ステップ 5	switch(config-vmt-conn)# [no] connect	vCenter に接続します。 コマンドの no 形式では、vCenter から VM トラッカーを切断します。

例

次に、VMware vCenter との新しい接続を作成する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vmtracker connection conn1
switch(config-vmt-conn)# remote ip address 20.1.1.1 port 80 vrf management
switch(config-vmt-conn)# username user1 password abc1234
switch(config-vmt-conn)# connect
```

VMware vCenter との情報の同期

デフォルトでは、VM トラッカーが VMware vCenter からすべての非同期イベントを追跡し、スイッチポート構成をすぐに更新します。同期メカニズムを任意に構成することで、VMware vCenter とすべてのホスト、VM、ポート グループの情報を指定した間隔で自動的に同期することもできます。

コマンド	目的
[no] set interval find-new-host val	vCenter に新たに接続されたホストを検索する間隔を秒単位で設定します。コマンドの no 形式は、以前構成された間隔を無効にします。 デフォルトの間隔は 3600 秒です。
[no] set interval sync-full-info val	すべてのホスト、VM、ポートグループの関連情報を vCenter と同期する間隔を秒単位で設定します。コマンドの no 形式は、以前構成された間隔を無効にします。 デフォルトの間隔は 3600 秒です。
vmtracker connection connection-name refresh	指定した接続に対して、すべてのホスト、VM、ポートグループの関連情報を vCenter とただちに同期します。

例

次に、vCenter に新たに接続されたホストを検索する間隔を設定する例を示します。

```
switch(config-vmt-conn)# set interval find-new-host 300
```

次に、すべてのホスト、VM、ポートグループの情報を vCenter と同期する間隔を設定する例を示します。

```
switch(config-vmt-conn)# set interval sync-full-info 120
```

次に、すべてのホスト、VM、ポートグループの情報を vCenter とただちに同期する例を示します。

```
switch# vmtracker connection conn1 refresh
```

VPC トポロジで互換性チェック

VPC トポロジでは、VM トラッカーはタイプ 2 の互換性チェックを実行します。このチェックにより、特定の接続名について、次のフィールドが VPC ピア間で照合します。

- VM トラッカーが接続する必要がある vCenter IP アドレス。
- VM トラッcker が接続する必要がある vCenter ポート番号。
- 特定の接続で許可される VLAN 範囲。
- VM トラッcker が vCenter Server への接続に使用するユーザー名とパスワードの組み合わせ。

VXLAN テレメトリの表示

VPC チェックが成功したかどうかを判断するには、**show vpc consistency-parameters global** を使用します。コマンドを使用して、ACI イメージがスタンダードアロンスイッチに正常に転送されたことを確認します。

VPC チェックの例を次に示します。

```
switch# show vpc consistency-parameters global

Legend:
Type 1 : vPC will be suspended in case of mismatch

Name          Type  Local Value      Peer Value
-----
Vlan to Vn-segment Map  1    No Relevant Maps  No Relevant Maps
STP Mode      1    Rapid-PVST      Rapid-PVST
STP Disabled   1    None           None
STP MST Region Name  1    ""             ""
STP MST Region Revision 1    0              0
STP MST Region Instance to VLAN Mapping
STP Loopguard  1    Disabled        Disabled
STP Bridge Assurance 1    Enabled         Enabled
STP Port Type, Edge   1    Normal, Disabled, Normal, Disabled,
BPDUfilter, Edge BPDUGuard  Disabled        Disabled
STP MST Simulate PVST 1    Enabled         Enabled
Interface-vlan admin up 2    1-8            1-8
Interface-vlan routing 2    1-8            1-8
capability
vmtracker connection 2    conn1, 10.193.174.215, conn1, 10.193.174.215,
params           80, 1-4094      80, 1-4094
Allowed VLANs      -    1-100          1-100
Local suspended VLANs -    -              -
switch#
```

VXLAN テレメトリの表示

VXLAN トライフィック用に設定されているすべての仮想ワイヤのリストを表示するには、**show vmtracker info vxlan-segment** コマンドを使用します。

```
switch# show vmtracker info vxlan-segment

-----
VXLAN Segment Info (Conn:a IP:172.23.40.204 vShieldIP:172.23.40.205)
-----
Virtual Wire Name      Multicast IP      vdnID
-----
virtual wire 1          226.0.0.0      5001
virtual wire 2          226.0.0.1      5002
virtual wire 3          226.0.0.2      5003
virtual wire 4          226.0.0.3      5004
```

各仮想ワイヤ上のすべての VM のリストをホストごとに表示するには、**show vmtracker info vxlan-vm** コマンドを使用します。

```
switch# show vmtracker info vxlan-vm

-----
VXLAN Segment Info (Conn:a IP:172.23.40.204 vShieldIP:172.23.40.205)
-----
VirtualWireName    VTEP IP      VLAN-Range   VMs
-----
virtual wire 1    10.10.10.10  11           -
virtual wire 2    10.10.10.10  11           Bob, app-1, vMotion VM
virtual wire 3    10.10.10.10  11           -
virtual wire 4    10.10.10.10  11           -
virtual wire 1    10.10.10.20  11           -
virtual wire 2    10.10.10.20  11           web-1
virtual wire 3    10.10.10.20  11           -
virtual wire 4    10.10.10.20  11           -
```

仮想マシントラッカー構成の確認

VM トラッカーの構成を表示し、検証するには、次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
show running-config vmtracker [all]	VM トラッカー構成を表示します。
show vmtracker [connection <i>conn_name</i>] {{info [interface <i>intf_id</i>] }{summary detail host vm port-group}} event-history}	次に基づいて VM トラッカーの構成を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 接続 (Connection) インターフェイス イベント履歴
show vmtracker [connection <i>conn_name</i>] status	指定した vCenter 接続の IP アドレスおよび接続ステータスを表示します。
show logging level vmtracker	VM トラッカーの syslog メッセージのログ レベルを表示します。

特定のインターフェイスで仮想マシントラッカーを有効にする

[no] feature vmtracker コマンドを使用して VM トラッカーを有効にするとき、すべてのインターフェイスでデフォルトで有効になります。 **[no] vmtracker enable** コマンドを使用して、特定のインターフェイスでオプションで無効および有効にできます。

■ ダイナミック VLAN 作成の構成

手順の概要

1. switch# **configure terminal**
2. switch(config)# **interface type slot/port**
3. switch(config-if)# **[no] vmtracker enable**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	switch# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ2	switch(config)# interface type slot/port	指定したインターフェイスのインターフェイスコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ3	switch(config-if)# [no] vmtracker enable	指定したインターフェイスで、VM トラッカー機能を有効にします。 コマンドの no 形式では、指定したインターフェイスで VM トラッカー機能を無効にします。

例

次に、指定したインターフェイスで VM トラッカー機能を有効にする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/3/1
switch(config-if)# vmtracker enable
```

ダイナミック VLAN 作成の構成

ダイナミック VLAN 作成の有効化

グローバルな VLAN のダイナミック作成および削除は、デフォルトでは有効になっています。ダイナミック VLAN 作成が有効になっているときに、VM があるホストから別のホストに移動し、この VM に必要な VLAN がスイッチに存在しない場合、必要な VLAN がスイッチ上に自動的に作成されます。この機能も無効にできます。ただし、ダイナミック VLAN 作成を無効にする場合、必要な VLAN すべてを手動で作成する必要があります。

始める前に

VM トラッカー機能が有効になっていることを確認します。

手順の概要

1. switch# **configure terminal**
2. switch(config)# **vmtracker connection connection-name**
3. switch(config-vmt-conn)# **[no] autovlan enable**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# vmtracker connection connection-name	指定された接続名の VM トラッカー接続構成 モードを開始します。
ステップ 3	switch(config-vmt-conn)# [no] autovlan enable	ダイナミック VLAN 作成および削除を有効にします。 コマンドの no 形式は、ダイナミック VLAN 作成および削除を無効にします。

例

この例では、ダイナミック VLAN 作成を有効にする方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vmtracker connection conn1
switch(config-vmt-conn)# autovlan enable
```

許可されている VLAN リストの構成

デフォルトでは、すべての VLAN はインターフェイスでダイナミックに設定できます。このような VLAN の制限リストを定義することもできます。

始める前に

VM トラッカー機能が有効になっていることを確認します。

手順の概要

1. switch# **configure terminal**
2. switch(config)# **vmtracker connection connection-name**
3. switch(config-vmt-conn)# **allowed-vlans {allow-vlans | add add-vlans | except except-vlans | remove remove-vlans | all}**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# vmtracker connection connection-name	指定された接続名の VM トラッカー接続構成モードを開始します。
ステップ 3	switch(config-vmt-conn)# allowed-vlans {allow-vlans add add-vlans except except-vlans remove remove-vlans all}	インターフェイスでダイナミックに構成できる VLAN のリストを構成します。

例

次に、許可 VLAN のリストを構成する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vmtracker connection test
switch(config-vmt-conn)# allowed-vlans 100-101
```

仮想マシントラッカーの構成例

この例では、vCenterとの接続を作成する方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature vmtracker
switch(config)# vmtracker connection test
switch(config-vmt-conn)# remote ip address 20.1.1.1 port 80 vrf management
switch(config-vmt-conn)# username user1 password abc@123
switch(config-vmt-conn)# connect
switch(config-vmt-conn)# show vmtracker status
```

Connection	Host/IP	status
test	20.1.1.1	Connected

```
switch(config-vmt-conn)# show vmtracker info detail
-----
Interface      Host          VMNIC    VM        State  PortGroup  VLAN-Range
Ethernet1/3/1  20.2.2.2     vmnic4   No-OS1    on    PGroup100  100
-----
```

```
switch(config-vmt-conn)# show running-config vmtracker
!Command: show running-config vmtracker
!Time: Mon Mar 10 09:07:47 2014
```

```

version 6.0(2)U3(1)
feature vmtracker
vmtracker connection test
remote ip address 20.1.1.1 port 80
username user1 password abc@123
connect

switch(config-vmt-conn)# show running-config interface ethernet 1/3/1
!Command: show running-config interface Ethernet1/3/1
!Time: Mon Mar 10 09:09:13 2014
version 6.0(2)U3(1)
interface Ethernet1/3/1
switchport mode trunk
switchport trunk allowed vlan 1,100

```



(注) VLAN 1 は、インターフェイス Ethernet1/3/1 でのネイティブ VLAN です。

次に、vCenter で VM の電源をオフにした後に VM トラッカー情報を確認する例を示します。

```

switch(config-vmt-conn)# show vmtracker info detail
-----
Interface      Host          VMNIC     VM        State  PortGroup  VLAN-Range
-----
Ethernet1/3/1  20.2.2.2      vmnic4    No-OS1    off    PGroup100  100
-----

```



```

switch(config-vmt-conn)# show running-config interface ethernet 1/3/1
!Command: show running-config interface Ethernet1/3/1
!Time: Mon Mar 10 09:09:13 2014
version 6.0(2)U3(1)
interface Ethernet1/3/1
switchport mode trunk
switchport trunk allowed vlan 1, 100

```

次に、vCenter を介して新しい VLAN を追加した後に VM トラッカー情報を確認する例を示します。

```

switch(config-vmt-conn)# show vmtracker info detail
-----
Interface      Host          VMNIC     VM        State  PortGroup  VLAN-Range
-----
Ethernet1/3/1  20.2.2.2      vmnic4    No-OS1    on    PGroup100  100
Ethernet1/3/1  20.2.2.2      vmnic4    No-OS1    on    PGroup103  103
-----

```



```

switch(config-vmt-conn)# show running-config interface ethernet 1/3/1
!Command: show running-config interface Ethernet1/3/1
!Time: Mon Mar 10 09:11:06 2014
version 6.0(2)U3(1)

```

仮想マシントラッカーの構成例

```
interface Ethernet1/3/1
switchport mode trunk
switchport trunk allowed vlan 1,100,103
```

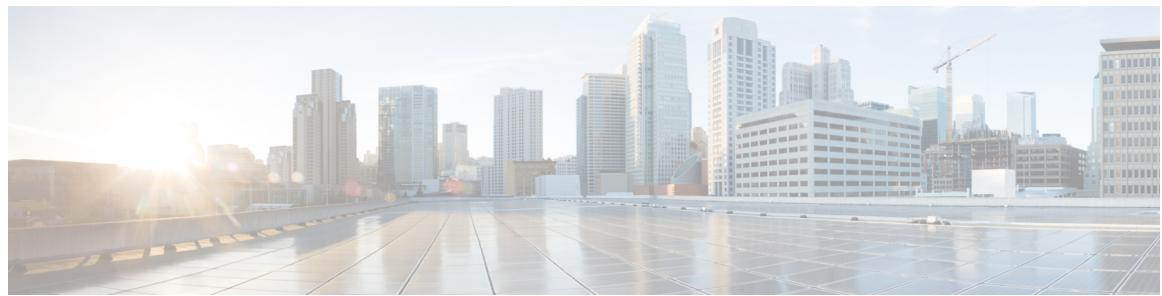
次に、VM トラッカーのイベント履歴情報を確認する例を示します。

```
switch(config-vmt-conn)# show vmtracker event-history
-----
Event History (Connection:test NumEv:6 IP:20.1.1.1)
-----
EventId Event Msg
-----
77870 Reconfigured No-OS1 on 20.2.2.2 in N3K-VM
77867 No-OS1 on 20.2.2.2 in N3K-VM is powered on
77863 Reconfigured No-OS1 on 20.2.2.2 in N3K-VM
77858 No-OS1 on 20.2.2.2 in N3K-VM is powered off
```

次に、vCenterとの接続を切断する例を示します。

```
switch(config)# vmtracker connection test
switch(config-vmt-conn)# no connect
switch(config-vmt-conn)# show vmtracker status
Connection Host/IP status
-----
test 20.1.1.1 No Connect
-----
switch(config-vmt-conn)# sh running-config interface ethernet 1/3/1
!Command: show running-config interface Ethernet1/3/1
!Time: Mon Mar 10 09:15:43 2014
version 6.0(2)U3(1)
interface Ethernet1/3/1
switchport mode trunk
switchport trunk allowed vlan 1

switch(config-vmt-conn)# show vmtracker info detail
-----
Interface Host VMNIC VM State PortGroup VLAN-Range
-----
```



索引

A

allowed-vlans **13-14**
allowed-vlans add **13-14**
allowed-vlans all **13-14**
allowed-vlans except **13-14**
allowed-vlans remove **13-14**

C

connect **8**

R

remote ip address **7-8**
remote port **7-8**
remote vrf **7-8**

S

set interval find-new-host **9**
set interval sync-full-info **9**
show logging level vmtracker **11**
show running-config vmtracker **11**
show running-config vmtracker all **11**

show vmtracker connection **11**
show vmtracker event-history **11**
show vmtracker info **11**
show vmtracker info detail **11**
show vmtracker info host **11**
show vmtracker info interface **11**
show vmtracker info port-group **11**
show vmtracker info summary **11**
show vmtracker info vm **11**
show vmtracker status **11**
show vpc consistency-parameters global **10**

V

vmtracker を有効にする **12**
vmtracker 接続 **7-9, 13-14**

は

パスワード **8**

イ

ユーザ名 **8**

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。